

国語科 学 習 指 導 案

広島市立〇〇小学校
指導者 〇〇 〇〇

1 日時 平成24年2月〇日(〇)

2 学年・組 第5学年〇組

3 指導事項

(1) 書くこと イ

・自分の考えを明確にするため、文章全体の構成の効果を考えること。

(2) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(キ)

・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。

4 単元名(教材名) 活動したことを伝える文章を書こう
(「伝えよう、委員会活動」 東京書籍 下)

5 言語活動

ウ 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○ 自分が体験したことをもとに、委員会の活動報告を、読み手の興味をひくように工夫して書こうとしている。	○ 活動報告の文章を書くために、効果的な構成を考えて書いている。	○ リーフレットにはいろいろな構成があることに気付き、書き方を理解して書いている。

7 単元について

○児童の状況

・ **書くこと**：本学級では、4月当初、「書き方が分からない」という理由で「書くこと」に対して苦手意識をもっている児童や、思いつくままに書くため筋道の通った文章を書くことができない児童が数名おり、「書くこと」の基礎的・基本的な力や、豊かに表現するための力が十分とはいえなかった。そこで、まず、日記や短作文で書くことの日常化を図る中で、基本的な書き方の指導を繰り返し行うことにした。

6月の「立場を明確にして書こう」では、自分の意見が分かりやすく伝わるように、立場を明確にし、構成を考えて文章を書く学習を行った。最初に自分の立場を明らかにした上で書き始める意見文の書き方を理解し、友だちと交流する活動を行った。9月「資料を読んで考えたことを書こう」では、資料を読み取り、自分の考えたことを伝える文章を書く学習を行った。そして、資料にはいろいろな表現形式があることや、読み手にとって分かりやすい文章にするためには、写真や図表などを入れるとよいことも知ることができた。10月「ふしぎな世界へ出かけよう」の学習では、創作文に取り組み、テーマにそって想像をふくらませながら楽しく物語を作り、クラスで交流することができた。

以上のような活動を通して、少しずつではあるが、「書くこと」に対して抵抗がなくなり、自分の思いを素直に書くことができるようになってきた。また、お互いにクラスやグループで出来上がった作品を交流することで、友だちの作品のよさを感じ、自分の文章作成のための参考や励みとなってきている。しかしながら、まだ自分の考えを明確にしたり、効果的に表現したりする書き方の工夫は十分とは言えない。

・ **文や文章の構成**：「設定－展開－山場－結末」の4段構成や、「序論－本論－結論」の3段構成の理解については、これまでの様々な学習活動の中で定着を目指してきた。10月には、「ふしぎな世界へ出かけよう」の学習で、4段構成で物語文を書くことができた。また、

説明文で段落構成を考えたり，設定された形式で書いたり話したりするときに段落構成を意識することができるようになってきている。しかし，日常生活の中で文章を書いたり話したりするときに，効果的な文章構成を活用しようとしている児童は多いとは言えない。

児童は，これまで詩や観察記録文，意見文など様々な文章を書いてきた。また，社会見学や野外活動では新聞を製作し，紙面割りの方法や見出しの付け方などを経験してきている。リーフレットの作成は今回がはじめての経験となる。

○教材の価値

- **教材文「伝えよう，委員会活動」**：5年生になると，生活経験が広がり，自分が経験したことについて報告する機会も増えてくる。ここでは，来年から委員会活動に参加する4年生に，委員会の仕事を知ってもらうために，自分が所属する委員会の活動報告を書くという学習を設定する。すなわち，自分の所属する委員会について取材し，その中から必要な事柄を選んで，内容を分かりやすく構成して伝えることに意義がある。もうすぐ最高学年になる5年生にとって，「4年生に伝えたい」という意識を喚起させるのにふさわしい教材といえる。
- **活動報告のリーフレットを作ること**：委員会活動の取材で入手した事柄を吟味し，4年生に自分の考えを分かりやすく伝えるために，リーフレットという表現形式をとる。文章表現だけでなく，必要に応じて写真や図表・グラフなどを用いること，割り付けを工夫することにより，自分の考えや思いを自由に表現しながら，リーフレットを完成させていく。
児童は，これまで国語科だけでなく，他教科でも，見学新聞や観察記録文などを書くことを経験してきている。「活動報告のリーフレットを作ること」という場を設定することにより，これまでの経験を生かしながら，4年生のために分かりやすく，印象に残るようなリーフレットを作ろうと努力する児童の姿が期待できる。児童がこれまでの学習を通して習得してきた言葉の力や表現方法を活用しながら，さらに言葉への認識を深めるきっかけとすることもできると考える。

○指導の工夫

- **導入の工夫**：指導にあたっては，まず，導入で4年生へのインタビュービデオを視聴する。4年生が委員会についてどの程度のことを知り，そして，何を知りたがっているのかを直接的に把握させるようにする。これは，委員会活動について，「必ず相手に伝えなければならないこと」であり，活動報告の内容に盛り込む重要なものとなるであろう。そして，何より，上級生として，自分たちが一年間活動してきた委員会について，「4年生に教えてあげたい」という気持ちをもたせるようにする。書く目的や相手を意識しながら，「自分は4年生に何を伝えたいのか」を常に念頭に置いて，見通しをもって学習が進められるようにしたい。
また，リーフレットについては，あらかじめ様々な種類のものを集めておき，リーフレットがどのようなものか，児童が手に取って確かめられるようにしておきたい。
- **分かりやすく内容を伝えるための工夫**：活動報告がどのようなものかを認識するために，教材文（モデル文）を読む。活動報告の構成やその特徴，構成メモの活用の仕方について読み取ることで，分かりやすく伝えるためのポイントを話し合っていく。それとともに，見出しやキャッチフレーズ，図表・写真，リード文，割り付けなどにも気付かせていくようにする。文章だけで伝わりにくい情報は，図示したり，絵や写真を入れたりする方が相手に伝わりやすいことや，文字の形状を変化させることなどは，これまでも学習してきている。他教科・他領域で学んだ知識や技能も積極的に活用させたい。
- **ワークシート，付箋紙の活用**：全員に活動報告の書き方の基礎・基本を定着させ，自分の考えを明確にさせるために，ワークシートを有効に活用しながら取材メモや構成メモを作成させる。取材活動については，他領域での活動経験を，構成メモにまとめるときには，作文で学習した組み立てメモを活用させたい。
取材から構成までの一連の作業の際は付箋紙を利用する。付箋紙に自分が取材した情報を書き出し，その中から，情報を取捨選択して書く事柄を決定していくようにする。そして，紙面のレイアウトの際も，全体を考えながら順序や場所を決定させていくようにしたい。付箋紙は，事実は黄，感想や意見は桃に色分けして，分かりやすくしていく。
- **評価**：それぞれの学習活動においては「振り返りカード」を用意し，毎時間活動を振り返りながら学習を進めていくことができるように工夫する。また，自己評価とともに，他者評価も取り入れ，グループやペアを作って交流する時間を確保するようにする。その中で，ど

こがよい表現かだけでなく、足りないことはないか、もっと分かりやすくするための工夫はないかなどについて友だちと話し合い、考えを引き出し合えるようにしていきたい。

リーフレットが完成したら、4年生を対象に交流会を開いて感想を発表する。自分の伝えたかったことが明確であったのか確認することができるとともに、読み手の役に立ったことを感じ取ることによって書く喜びや意欲が高まると考える。

個別の作業では、特に、個人差が出るものと予測される。毎時間のワークシートや「振り返りカード」にていねいに目を通したり、配慮を要する児童には「ヒントカード」を準備したりするなど、個に応じた指導を充実させていきたい。そして、全員が「書いてよかった」と思えるような学習にしていきたい。

- ・ **文や文章にはいろいろな構成があること**：リーフレットはどのような構成で出来上がっているのか、単元の導入で児童に提示し、常にその構成を意識して学習を進めることができるようにしていく。そして、ワークシートの工夫をすることで、文章の構成は目的に応じて決定され、それらに合わせた構成があることを理解させ、自分の考えが明確になるような文章の完成をめざしていくようにしたい。

8 単元の学習と評価の計画（全9時間）

次	時	学 習 活 動	評価の観点			評価規準・評価方法
			意欲・態度 国語への関心・	書 く 能 力	識・理解・技能 言語についての知	
一	1	4年生のインタビュービデオを視聴した上で、単元のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 モデル文をもとにリーフレットがどのようなものか確かめる。			○	4年生のために委員会の活動報告のリーフレットを作ることに興味をもって取り組もうとしている。 (発言、行動観察)
二	2 3	自分が所属する委員会の活動について、報告する事柄を集め、メモに書き出す。 メモをもとに書く内容や、それにふさわしい資料を選ぶ。		○		活動報告の目的に合わせて、報告する事柄を集め、書く内容をメモに書き出している。 (構成メモ、ワークシート)
	4	リーフレットのレイアウトを考える。 〈本時〉		○		効果的なリーフレットの構成を考えて書いている。 (ワークシート)
	5 6 7	4年生に分かりやすくなるように工夫し、活動報告をリーフレットにまとめる。		○		読み手のことを意識し、リーフレットの構成を考えている。 (リーフレット)
	8	よりよいリーフレットにするためにクラスでリーフレットを読み合い、内容や表現を見直す。		○		リーフレットを読み返し、4年生に活動報告の内容が明確に伝わるか確かめ、助言し合っている。 (行動観察、リーフレット)
三	9	4年生を対象に交流会を開き、学習を振り返る。	○			学習を振り返り、身に付けた力をこれからの生活や学習に生かそうとしている。 (振り返りカード)

9 本時の目標

- 書く事柄をもとに、リーフレットのレイアウトを考えることができる。

10 本時の学習展開（4／9時）

学習活動	指導上の留意事項	評価規準・評価方法
<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの特徴 ・リーフレットに書く事柄 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1時で使ったリーフレットを用意し、その特徴を想起できるようにする。 ○ 「4年生が知りたいこと」と「自分が伝えたいこと」の2つの観点で書く事柄を整理したことを確認する。 	
<p>リーフレットのレイアウトを考えよう。</p>		
<p>3 リーフレットのレイアウトを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめに、リーフレットのどの紙面に何を書くのかイメージしやすいように、折ったワークシートを用意して、読み手が読む順番を確認する。 ○ リーフレット例を参考にしながら、読み手にとって分かりやすい配列になるように付箋を貼っていくように助言する。 ○ 効果的な活動報告にするために必要な資料（写真や図表など）も、活用していくように助言する。 ○ 構成の作業が進まない児童には、ヒントの入ったワークシートにまとめるようにさせる。 	<p>A：読み手にとって分かりやすい紙面になるように効果的なリーフレットの構成を考えている。</p> <p>B：読み手のことを意識し、リーフレットの構成を考えている。（ワークシート）</p>
<p>4 ペアでそれぞれのレイアウトを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が一番伝えたいことや、レイアウトの工夫をペアの友だちに話すようにする。聞き手は、感想と助言を伝えるようにする。 	
<p>5 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よかったところ ・一言アドバイス 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書き手として気付かなかった点を明らかにし、次の書く活動に生かすようにする。 ○ 「振り返りカード」を書いて全体で交流し、ペアでの話し合いが全体のものとなるようにしていく。 	
<p>6 次時の学習の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 構成メモとレイアウトをもとにリーフレットを書くことを確認する。 	